

あとがき

無駄安留記隊の活動も、いよいよ因幡国の山間地域へと入ってきました。二〇一二年度は八東郡でしたが、二〇一三年度は智頭郡と続き名所の性質も自然景観が中心となっていきます。鳥取東部の豊かな自然環境を無駄安留記の著者がどのように受け止めているのか、あるいはその作者を追い続ける無駄安留記隊員たちがどのように視点で表現しているのか、たいへん楽しみにしています。

今年度は、旧郡家町・若桜町が中心となりましたが、隊員も含めその自然の神秘にはとても驚きました。「竹石」「屯倉弁財天巖」「須澄山中不動巖」などあまり知られていない重要な名所がありました。自然のつくろい造形も名所ですが、とくに鳥取東部山間部には独特のものがあると思います。三朝町の投入堂も含めて、こうした造形美と、それを取り巻く山岳信仰や人びとの営みにもっと関心を寄せていく必要を感じました。附録には、今回現地調査を見送った「須澄不動巖」の写真をつけてあります。

また、「窟堂」（岩屋堂）、「峯寺薬師堂」など文化財レベルのものもありました。長い歴史のなかで残ってきた重要な地域の宝です。とくに後者は民衆信仰の有り様を考える上で重要なもので、地域独自の信仰にあつい視線を送る無駄安留記の特色を見ることが出来ます。

そして、やはりこの地域の平家伝承の深さには驚かされました。無駄安留記に記述されている「落居」（落折）はまさに落人伝説にふさわしいものが残っており、今回紹介できなかったため調査で撮影した写真を附録として付けておきました。その他「龍徳寺」「窟堂」（岩屋堂）「屯

倉弁財天巖」など平家にまつわる伝承がいたるところで見ることが出来、この地域の歴史と文化の豊かさを実感させるものです。今までの調査でも法美郡や八上郡で源平の伝承が色濃く残っているのを見てきましたが、今後はさらにこの鳥取県東部の平家落人伝説全体に関心をもって研究を進めていく必要があるでしょう。

最後に、岩屋堂を紹介していただいた山根貞郎様、須澄山中不動岩の写真を提供していただき解説をいただいた福山繁様、門村正行様、岩村義秋様、また全般にわたって情報収集に協力していただいた若桜町役場の職員の方にはここに改めて感謝申し上げます。

（岸本 寛）

2012 年度 無駄安留記隊 隊員

板持	尚 幸	(いたもち なおゆき)	鳥取大学地域学部地域文化学科
井上	美保	(いのうえ みほ)	〃
佐々木	裕都	(ささき ゆうと)	〃
高 磯	麻実	(たかいそ あさみ)	〃
西村	菜穂	(にしむら なほ)	〃
西村	祐亮	(にしむら ゆうすけ)	〃
深内	くるみ	(ふかうち くるみ)	〃

茨 木	透	(いばらき とおる)	鳥取大学地域学部地域文化学科教員
岸 本	覚	(きしもと さとる)	〃
田 中	仁	(たなか ひとし)	〃

無駄安留記隊報告書 2012

鳥取大学地域学部地域文化学科 2012 年度地域文化調査

2013 年 3 月 31 日 発行 (非売品)



編 者 田 中 仁
茨 木 透
岸 本 覚

発行所 鳥取大学地域学部地域文化学科
〒 680-0945 鳥取市湖山町南 4-101

<http://www.rs.tottori-u.ac.jp/ibaraki/mudaaruki/>

印 刷 中央印刷株式会社